

事業報告書

とやま まちづくり 市民討議会 2014

～あなたの声を届けませんか～

主催 富山市・公益社団法人富山青年会議所

[作成]

富山市

公益社団法人富山青年会議所
まちづくり特別委員会

2014年 6月

目 次

I 事業概要

- 1 本報告書の位置づけ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P3
- 2 「とやま まちづくり市民討議会 2014」開催に至る経緯・・・・・・ P3
- 3 「とやま まちづくり市民討議会 2014」開催概要・・・・・・ P3～P7

II 討議結果

- 1 討議テーマ1：「とやまの郷土料理」
 - 1) とやまが誇る郷土料理とその魅力とはなにか。
 - 2) 魅力の効果的な発信方法はなにか。
 - ◆ 5月24日 各グループのまとめ・投票結果・・・・・・ P8～P13
 - ◆ 5月25日 各グループのまとめ・投票結果・・・・・・ P14～P18
- 2 討議テーマ2：「新幹線開業を見据えた観光の取り組み」
 - 1) 新幹線利用客がとやまに求めるものはなにか。
 - 2) 新幹線利用客にとやまを効果的にPRする方法はなにか。
 - ◆ 5月24日 各グループのまとめ・投票結果・・・・・・ P19～P24
 - ◆ 5月25日 各グループのまとめ・投票結果・・・・・・ P25～P30

III アンケート結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P31～P44

<参考資料>

- ① 市民討議会 開催案内書・・・・・・・・・・・・・・・・ P45
- ② 富山県 情報提供資料・・・・・・・・・・・・・・・・ P46～P49
- ③ 富山市 情報提供資料・・・・・・・・・・・・・・・・ P50～P63
- ④ 開催風景・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P64～P65
- ⑤ 新聞 掲載記事・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P66

I 事業概要

1. 本報告書の位置づけ

本報告書は、公益社団法人富山青年会議所(以下、富山 JC)と富山市が共催で実施した「とやま まちづくり市民討議会 2014」における参加者の討議結果を報告書としてまとめ、富山市に対して施策への反映を求めて提出いたします。

2. 「とやま まちづくり市民討議会 2014」開催に至る経緯

市民の市政参画の手法は数多くありますが、消極的で自主的に物事を言おうとしない人々が市政参画することは極めて少ないのが現状です。多くの一般市民は「まちづくりは行政や市民団体が行うものである」という依存した考え方を持っている一方で、地方自治体においては限られた財源で多くの課題に取り組まなければならないという現状もあります。

そのような状況のなか、富山 JCは富山市と共催で、市民の意見をより多く集め、議論する機会を創出し、市民の声を行政の施策に反映するための新しい手段として、5回目の市民討議会の開催に至りました。

3. 「とやま まちづくり市民討議会 2014」開催概要

1) 開催日時

2014年5月24日(土) 10:00～15:00

2014年5月25日(日) 10:00～15:00

2) 開催場所

いきいきKAN とやま CiC ビル5F

3) 参加者選出方法

住民基本台帳から無作為に抽出した18歳以上の市民1,000名にチラシ・開催案内状を送付し、参加希望者の中から抽選で、25名×2日間 計50名の参加者を決定いたしました。が、両日とも都合により1名ずつ欠席したため、24日は24名、25日は24名 計48名の参加となりました。

* 2012年度からの返信数他実績一覧

	2014年度実績		2013年度実績		2012年度実績	
参加定員数	50		50		50	
案内発送数	1,000		1,000		1,000	
返信数	345	34.50%	324	32.40%	378	37.80%
参加可能数	54	15.62%	66	20.37%	73	19.31%
見学数(希望)	4	1.16%	2	0.62%	7	1.85%
不参加数	287	83.19%	256	79.01%	298	78.84%
参加数	48		49		45	

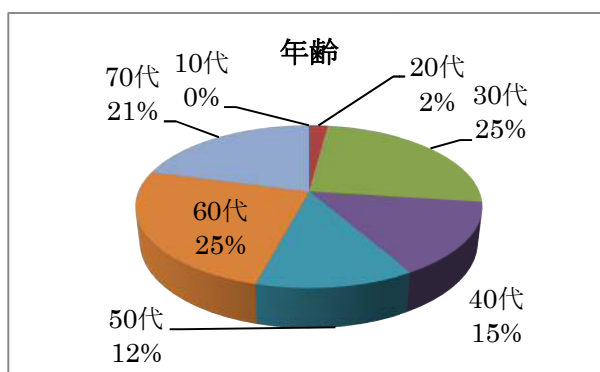
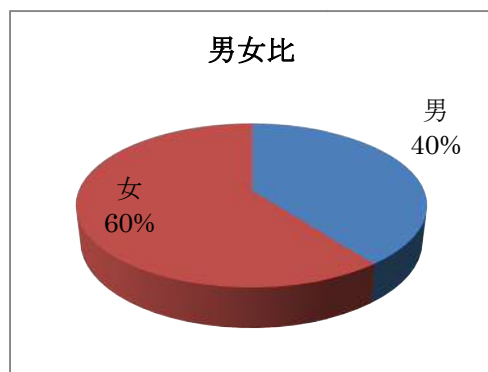
I) 2104年 参加可能者内訳

年齢	合計	男	女
10代	0	0	0
20代	2	1	1
30代	10	6	4
40代	7	3	4
50代	5	2	3
60代	15	6	9
70代	15	4	11
80代	0	0	0
合計	54	22	32

II) 2014年 参加者内訳

年齢	合計	男	女
10代	0	0	0
20代	1	0	1
30代	12	7	5
40代	7	2	5
50代	6	2	4
60代	12	5	7
70代	10	3	7
80代	0	0	0
合計	48	19	29

参加者内訳



II) 2014年 不参加理由

理由分類	欠席理由	人数
	興味あり	127
	無記入	36
	その他	124
	計	287

※2014年 不参加理由 区分内訳

区分	理由	人数
興味あり	仕事のため	4
	旅行のため	2
	予定があるため	2
	家事・育児・介護のため	1
	病気・体調不良・入院・入所・通院・障害があるため	2
	高齢のため	0
	県外在住のため	1
	その他	115
	計	127
無記入	仕事のため	6
	旅行のため	3
	家事・育児・介護のため	1
	病気・体調不良・入院・入所・通院・障害があるため	12
	高齢のため	1
	その他	13
	計	36
その他	仕事のため	4
	旅行のため	0
	予定があるため	11
	家事・育児・介護のため	5
	病気・体調不良・入院・入所・通院・障害があるため	29
	高齢のため	1
	県外在住のため	1
	その他	11
	無記入	62
	計	124

4) 討議テーマ

1 討議テーマ 1:「とやまの郷土料理」

- ① とやまが誇る郷土料理とその魅力とはなにか。
- ② 魅力の効果的な発信方法はなにか。

2 討議テーマ 2:「新幹線開業を見据えた観光の取り組み」

- ① 新幹線利用客がとやまに求めるものはなにか。
- ② 新幹線利用客にとやまを効果的にPRする方法はなにか。

5) 討議進行方法

- 1 自己紹介
- 2 係決め
- 3 討議の練習
- 4 情報提供
- 5 討議① 意見抽出・まとめ
- 6 討議② 意見抽出・まとめ
- 7 発表
- 8 投票
- 9 投票結果の発表

6) 当日のタイムスケジュール

時 間	所要時間 (分)	内 容
9:30～10:00	30	受付
10:00～10:20	20	開会式 (挨拶・趣旨説明・進行説明)
10:20～10:35	15	自己紹介・係決め・討議練習
10:35～10:55	20	討議①情報提供 「とやまの郷土料理」
10:55～11:15	20	討議①討議Ⅰ)意見抽出・まとめ
11:15～11:45	30	討議①討議Ⅱ)意見抽出・まとめ
11:45～12:10	25	討議①発表・投票→投票結果 発表
12:10～13:00	50	昼休 (昼食)
13:00～13:25	25	討議②情報提供 「新幹線開業を見据えた観光の取り組み」
13:25～13:50	25	討議②討議Ⅰ)意見抽出・まとめ
13:50～14:25	35	討議②討議Ⅱ)意見抽出・まとめ
14:25～14:45	20	討議②発表・投票
14:45～14:50	5	討議②投票結果 発表・講評
14:50～15:00	10	アンケート・事務連絡・閉会式
15:00		閉会

II 討議結果

開催日毎・テーマ毎の討議結果として、各グループのまとめやと投票結果を報告します。

討議テーマ 1：「とやまの郷土料理」

- 1) とやまが誇る郷土料理とその魅力とはなにか。
- 2) 魅力の効果的な発信方法はなにか。

5月24日（土）開催

【各グループのまとめ】

Aグループ

討議1) まとめ	<ul style="list-style-type: none">・昆布のおにぎりや昆布^め等、昆布料理が多い。・ます寿し・白エビ
討議2) まとめ	<ul style="list-style-type: none">・ブランド力を高める。・美容食品や健康食品として付加価値を付ける（べっこう等）・カフェや県外での販売会
全体まとめ	<ul style="list-style-type: none">・富山の食材のブランド力を上げ、今までと違う視点でのPR・県外の人に食べて頂く機会を増やす為に無料試食会や富山 café を作る。（行政ではなく民間主体で）

（討議中に出された意見）

- ・ホタルイカ食べるだけではなく漁も楽しんでもらう。
- ・見せ方を変える（薄氷→T5の様に）。
- ・食べ物の外観を変える。例えばべっこうを切っただけではなく、星形・ハート形等いろんな形にして宝石の様にみせる。
- ・県外の方はブラックラーメンが好き。
- ・郷土料理を盛り込んだ駅弁。
- ・ホテルや旅館の食事から発信（リピーター・ロコミ）。
- ・ます寿しは一人では大きすぎる。
- ・若い人へのアピール、とにかく食べてもらう機会を作る。

Bグループ

討議1) まとめ	<ul style="list-style-type: none">・ほとんど知らない。・富山で初めてべっこの存在を知り、今では時々作る。・つぼ煮が給食で出る。・子供が食べるものがあると良い。
討議2) まとめ	<ul style="list-style-type: none">・小学校の親子活動を利用して郷土料理を作る。・町内会での料理教室（食べる機会を増やす）。・地域イベントでの発信（B級グルメ等）。
全体まとめ	<ul style="list-style-type: none">・居酒屋で家庭料理として出す。・販売先を作る。・知らない物も多いが個人の思い出がある。・小学校の給食、町内会・各種イベント等食べる機会を増やす。

（討議中に出された意見）

- ・かぶら寿しの美味しさは全国一。
- ・昆布のおにぎりは富山だけ。
- ・バイの煮物が美味しい。
- ・ます寿しの歴史が300年以上あることに驚き。
- ・普段の食卓に並ばない、作れない。
- ・全国のデパ地下でのアピール。
- ・来県者に提供する。

Cグループ

討議1) まとめ	<ul style="list-style-type: none">・富山湾で獲れる豊富な魚介。・富山米を使った料理。
討議2) まとめ	<ul style="list-style-type: none">・富山特有の昆布料理を強くアピールする。 ※昆布め・昆布おにぎり
全体まとめ	<ul style="list-style-type: none">・県内外に富山の郷土料理のイベントを開催する。・郷土料理の専門店を作り、店で食べることが出来るようにする。・とやまでしか食べられないものは何かを考える。

(討議中に出された意見)

議題1

- ・山菜を使った料理(たらのめ・うど・よしな等)。
- ・昆布~~め~~料理(魚介類・山菜類)。
- ・山菜を使った昆布~~め~~が県外の方々に喜ばれている。
- ・昆布を使った料理(昆布おにぎり・昆布かまぼこ・昆布巻)。
- ・ます寿しが一番有名である。
- ・魚料理 (いかの黒作り・ます寿し・かまぼこ)。

議題2

- ・駅などにお土産として売り出す。
- ・調理人の確保。
- ・CMでのアピール。
- ・飲食店で食べられるようにする。
- ・郷土料理の専門店を出店する。
- ・給食の内容に入れる。
- ・昆布を使った料理を広く発信する。

Dグループ

討議1) まとめ	<ul style="list-style-type: none">・各家庭で味付けが違う。・ます寿し、ブラックラーメン、白エビ、べっこう、ぶり大根。・県内と県外の味付けが違う。
討議2) まとめ	<ul style="list-style-type: none">・学生食堂、給食のメニューに加える。・イベントで郷土料理を振る舞う。・道の駅で富山郷土料理の提供。
全体まとめ	<ul style="list-style-type: none">・公的な出張でアピール。・郷土料理を自らが理解し発信する。・学生食堂や給食のメニューに加える。

(討議中に出された意見)

- ・子供や若い人に知ってもらおう。
- ・郷土料理でおもてなし、郷土料理のお土産。
- ・デパートの地下食品で陳列してもらおう。
- ・県外の方はブラックラーメンが好き。
- ・郷土料理を盛り込んだ弁当をコンビニに陳列してもらおう。

E グループ

討議 1) まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主役は、お米。 ・ 富山は天然のいけす。
討議 2) まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商品名の分かりやすさ。 ・ 点と線（食品ラリー）。 ・ 愛着もてる地元の食材。 ・ 食べやすいサイズ。
全体まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 料理教室で発表する。 ・ 新聞等のコマーシャル、情報誌の活用。 ・ 富山湾は天然のいけす（魚介類：ぶり、ホタルイカ、白エビ、ゲンゲ、カワハギ）。 ・ 商品名に素材名を入れる。 ・ 駅近くで食べられる環境。 ・ 食べやすいサイズで販売。

（討議中に出された意見）

議題 1

- ・ 魚とのマッチングがとても多い。
- ・ 地産地消。 ※人が影響することなく採取している材料で作ったもの、地元の食材を中心に伝わってきたもの
- ・ 歴史的関係がある。
- ・ 友人・知人に自慢したくなる料理、家族全員その料理に愛情を感じているもの。
- ・ 我が家で大切にされてきた調理法、作る技術が伝えられていない。
- ・ 郷土料理は、何百年という積み重ねがある。
- ・ ます寿しがあるマス料理は？ ます寿し文化、ます寿しはもう古い。
- ・ 酒に合う。
- ・ 若者にウケが良くない。
- ・ 米食に合う料理が多い。おこわ料理。押し寿司は美味しいお米があって発展したもの。
- ・ 山菜料理も源となっている。山の幸（キノコ、シイタケ）。

議題 2

- ・ 学校給食で食べてもらう。
- ・ 料理名で何かイメージできること、特産品にルビをつける。
- ・ 年代を問わず気に入られること。
- ・ 地元の品に愛着とプライドを。
- ・ 富山の素材をアピールできること。
- ・ 料理教室、試食会、パンフレット等で宣伝。
- ・ 特産品と自然とのコラボ。

【投票結果】

順位	まとめ（投票対象）	票数
1位	給食や学生食堂のメニューに加えてもらう	10票
2位	富山の食材のブランド力を上げてPRする	7票
3位	美容食品・ダイエット食品・健康食品のブームにのせる	6票
4位	駅近くで食べられる環境を作る	5票
5位	居酒屋で富山の家庭料理として提供する	4票
6位	分かりやすい商品名にする	3票

5月25日(日) 開催

【各グループのまとめ】

Aグループ

討議1) まとめ	<ul style="list-style-type: none">・誰でも気軽に食べられる。・おいしい食べ物は保存食から作られている物が多い。・海・山の新鮮な食材が豊富(強み)。・家や店によって味が違う。・お土産で喜ばれる。・幅広い世代が好む。・日本酒に合う。
討議2) まとめ	<ul style="list-style-type: none">・来てもらう仕掛け。・食育伝承。
全体まとめ	<ul style="list-style-type: none">・富山「県」としてまず大きなメイン料理(食材)を1~2つ大々的にPR。・駅周辺に名物郷土料理が色々と食べられるフードコートの場所を作る。・駅周辺を活性!・大々的にイベント駅前。・県内まつりイベントを2、3日かけて行なう。・色々な団体で観光MAP、パンフを作っているがまずは統一すると観光客に分かりやすい。・星空がきれい。・新幹線の車窓から立山連峰を見てもらう。

(討議中に出された意見)

- ・富山の回転寿司。
- ・昆布ヅ。
- ・山菜おこわ。
- ・新鮮な魚、新鮮な野菜から作られる食材は富山に来て食べてもらうのが一番です。

B グループ

討議 1) まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昆布 ・ ます寿し ・ 白海老
討議 2) まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ メディアの活用：情報誌、アニメ、ドラマ。※県民ショー ・ 地元の居酒屋、レストランとのコラボ。 ・ 外へ向けての発信だけでなく学校給食などで食育を通しての普及。(→ 県民への情報提供、県内での郷土料理コンテスト。) ・ 109個ではなく108個で申請！(真宗王国なんだから、煩惱の数で！)
全体まとめ	<p>富山県民の意識から高める。</p> <p>映画、高校サッカーなどで知名度が上がっているいまこそ。</p>

(討議中に出された意見)

- ・ 昆布巻きかまぼこは、お土産として喜ばれる。
- ・ 黒作りは他には無い。
- ・ ます寿しと他の郷土料理を盛り込んだ駅弁を作る。
- ・ ます寿しは一人では大きすぎる。
- ・ 若い人へのアピール、とにかく食べてもらう機会を作る。
- ・ 富山と言えば、お米、魚、山菜。

C グループ

討議 1) まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昆布料理が多い。 ・ ます寿し、ブラックラーメン、べっこう、干柿。 ・ 富山の味付けは濃い。
討議 2) まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県外観光客向けにPR。 ・ 富山駅、富山空港に試食出来るブースを設ける。 ・ 道の駅で富山郷土料理の提供
全体まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内の若い世代を対象に料理教室を開講する。 ・ 県内の人に向けたPR。 ・ 外国有名人に食してもらおう場を作る。

(討議中に出された意見)

- ・ 県内の若い世代にまず知ってもらう。
- ・ 学校給食や学生食堂のメニューに加えてもらっては？
- ・ 最寄りのデイケアなどの老人施設の昼食やおやつに利用してもらう。
- ・ 昆布巻きかまぼこがおいしくて県外の知人に送っている。
- ・ 郷土料理の専門街を作ってみてはどうか？

Dグループ

討議1) まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・お通しとして出す。 ・海の幸と山の幸がおいしい富山 ・おいしい水とおいしいお酒
討議2) まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・食品市場の新設 ・郷土料理店マップ作成、配布 ・郷土料理のレシピ作り ・富山のお酒を富山のガラスで！
全体まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土料理は（海の幸と山の幸）魚が新鮮これをお通しとして発信。 ・おいしい水と酒が（魚）を主役にする。 ・おつまみとして（ぶり大根）野菜も豊か。 <p>発信 ①郷土料理マップ（レシピ） ②食品市場の再燃 ③食育</p>

（討議中に出された意見）

- ・黒作り白エビのセットはあったらいいなあ
- ・保存食の五箇山豆腐（どれだけでもつの）
- ・米（日本酒等）
- ・ひとつひとつでなくつながりを持たせて発信する
- ・学校給食のメニューを冊子にする
- ・給食で出す（食育の一環）
- ・他の隣県との違いをはっきりさせる。
- ・料理店マップ（郷土料理）を食す。
- ・活気ある市場が欲しい（近江町のような）

E グループ

討議1) まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・とやまは昆布を多種多様に料理に活かしている ・富山湾で獲れる魚(魚料理)
討議2) まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土料理駅弁の作成・販売 ・県民認知度向上の為、郷土料理のレシピを無料配布 ・県外の方々が来県された際に、必ず振舞う習慣作り(各個人で)
全体まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・特有の昆布料理(昆布締め等)を強く売り出す ・郷土料理のみの内容の駅弁(メニュー表示付き) ・富山県民の郷土料理に対する認知度を高めるため、レシピなどの配布を行い、作り方などを知る必要がある ・駅弁・お土産置きにその郷土料理のレシピなど添付する

(討議中に出された意見)

議題1

- ・県内でも地域によってかなり違いがあるものがある。
- ・県外の方々にお土産として進めているものはます寿し。
- ・店で買って食べるものであり、作って食べるものではない。
- ・富山の郷土料理は単純なものが多いが、とてもおいしい。
- ・質素なものの中にも様々な工夫が取り込まれている。
- ・本当に今の子供たちの世代は知らないものである。
- ・今後しっかりと伝えていけるものなのか心配である。
- ・山菜を使ったものが多い。
- ・昆布料理のイメージが強い(昆布メなど)。
- ・ます寿しが有名でその中でもお店がたくさんあり、食べ比べが出来る。

【投票結果】

順位	まとめ（投票対象）	投票数
1位	富山のお酒を富山のガラス製品で提供する	9票
2位	いま映画や高校サッカーなどで知名度が上がっている。この好機を利用して郷土料理をアピールする。	8票
3位	あまり多くの郷土料理をPRすると、伝える力が弱くなる。	6票
4位	昆布料理（昆布ㄨ、山菜、魚、昆布メシ、かまぼこ）。	5票
	道の駅で常に試食できるようにする。	5票

討議テーマ 2：「新幹線開業を見据えた観光の取り組み」

- 1) 新幹線利用客がとやまに求めるものはなにか。
- 2) 新幹線利用客にとやまを効果的に PR する方法はなにか。

5月24日（土） 開催

【各グループのまとめ】

Aグループ

討議1) まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・食。 ・観光（立山）。 ・富山で休もうではなく→旅を楽しむワクワク感・ドキドキ感。 ・異空間（立山曼荼羅）。
討議2) まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・東京駅での富山アピール（ポスター・富山の有名人の富山弁アナウンス）。 ・駅前イメージを良くする（富山に来たと実感できるような視覚的なもの、ワクワク感を演出する）。 ・みんなが富山の観光大使。 ・友達作戦（女性のロコミパワー）。
全体まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・新幹線乗る前。 東京をはじめ、県外でのメディア露出やポスターでアピール。 ・新幹線乗った後。 駅前を活性化、旅行者・県外の人向けに大袈裟なくらいアピール。 ・富山周遊コースを作る。

（討議中に出された意見）

- ・ 駅に降り立った時に富山に来たと Facebook、twitter で up 出来るような富山らしいものが欲しい。
- ・ 異空間での安らぎ（曼荼羅遊苑）。
- ・ 駅に降りた時立山が見えない（地铁ホテルの上から見えるのを何とか出来ないか。）
- ・ 呉羽山までの公共交通（立山へ行くには時間もお金もかかる、富山の PR 写真に多く使われている近場の呉羽山へ観光客・ビジネス客を誘導したいが駅から呉羽山まで行く公共交通がない、またはわかりづらい）。
- ・ 車内でのポスター作戦。
- ・ 新幹線利用者には無料で富山料理の提供。

B グループ

<p>討議 1) まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅ナカで昼食のとれるところ（郷土料理）。 ・ 富山駅からの観光バスの充実。 ・ 観光紹介。 ・ 富山の景色。 ・ 土産。
<p>討議 2) まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅から観光地へのアクセス。 ・ 観光会社と市役所の共同企画。
<p>全体まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車で移動できる自転車用案内図。 ・ 外国人観光客用の交通の改善（利便性、親しみ易さ）。 ・ 駅北地区が少し遠い（地下道）。 ・ 旅行会社の発刊する本に掲載、大都市での PR、車中での富山広告。 ・ 台湾の旅行会社へ PR（雪をバックに結婚式）。 ・ 駅ナカでの食文化・飲食・看板。

（討議中に出された意見）

- ・ バスの路線案内。
- ・ 富山→高山ルートを作る。
- ・ シーズン中は観光地へ多くバスを出す。
- ・ 台湾人の人が多いので外国語看板設置。
- ・ 観光ボランティア
- ・ 富山駅近くに湧き水が多い。

C グループ

討議 1) まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・観光地(自然・食)。 <li style="padding-left: 2em;">※黒部アルペンルートなど ・観光マップ。
討議 2) まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・電車や、新幹線にて観光の案内を行う。 ・オーバードホールや、立山などでのイベントの開催。 <li style="padding-left: 2em;">※コンサートや、富山の民謡などの物 ・新幹線内の座席ポケットに観光のパンフレットを入れておく。 ・アルペンなどの物語を集め、作成する。
全体まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ルートマップや、レンタカーなどの交通関係の利便性を図る。 ・新幹線の乗車中にPRできる仕組みを作る。 ・「自然がたくさんある富山へ行こう」とPRする。

(討議中に出された意見)

議題 1

- ・観光マップの充実。
- ・名所旧跡の観光。
- ・ライトレールに関して。
- ・旧道開発を行い、飛騨との連携を行う。
- ・ます寿し食べ歩きツアー。
- ・観光案内所の充実。
- ・ビジネス関係で来県された方々に対し、富山駅前の飲食店を充実させる。
- ・近くで様々な買い物ができる。
- ・観光、レンタカーの充実や駅前周辺の宿泊施設の充実。
- ・目的地への交通手段。

議題 2

- ・富山のおすすめの観光ルートを作る。
- ・旅行会社の充実。
- ・観光マップに映画・ドラマのロケ地を加える。

Dグループ

討議1) まとめ	<ul style="list-style-type: none">・立山、雪の大谷、黒部峡谷。・新鮮な魚や野菜。・温泉や自然等の癒し。
討議2) まとめ	<ul style="list-style-type: none">・薬膳料理でPR。・2時間で富山を周れるコースづくり。・アイドル、インターネットで発信。・首都圏の電車の中吊り広告でPR。
全体まとめ	<ul style="list-style-type: none">・自然、新鮮な魚、野菜、薬膳料理で観光誘致。・海、山の両方を1日で体験できる事をPR。・土地が安価なので県外企業誘致。・富山周遊コースを作る。

(討議中に出された意見)

- ・イメージビデオを作成しユーチューブで発信。
- ・ご当地アイドルでPR。
- ・首都圏の電車を利用したポスター作戦。
- ・道の駅で富山の郷土料理を提供。

E グループ

討議 1) まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・おもてなしの心。 ・温泉。 ・海・山共に素晴らしい自然。 ・とにかく・やすんでゆかれ・まあゆっくりと（頭文字でとやま）。
討議 2) まとめ	なし
全体まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・自然が多いなどの富山の魅力を出した観光マップ。 ・都内のデパ地下で試食会をする。 ・弁当の包装紙に観光PRをつける。 ・富山という都道府県を知ってもらう。 ・夏は海水浴、トレッキングツアー、山でバーベキュー。 ・旅行会社に企画・立案。 ・四季によるツアー（春：ホタルイカ、夏：全国最高気温、秋：紅葉・黒部峡谷、冬：温泉）。

（討議中に出された意見）

議題 1

- ・乗り換え時間を極力少なくする。
- ・目的地までの利便性、富山駅までの公共交通機関。
- ・駅からのお手軽観光ツアー、富山型オレンジ列車の旅。
- ・富山県ってどんなところか紹介、多国語の案内・看板・表示。
- ・黒部ダム観光、立山観光・登山、北アルプス観光。
- ・自然を楽しみ、触れて心をいやす。
- ・工芸品・おわら・高岡の大仏。
- ・美味しいものがいっぱい。
- ・改めて自分を見直す機会にする、あたたかい会話、やさしい心遣い。
- ・休むので終わるのではなく、また来たくなる街。

議題 2

- ・県人会等を利用する、企業の出先に協力してもらう。
- ・視覚による案内。カテゴリーごとの案内ツールを作る。
- ・交通の接続をよくする（乗り放題チケット、車内案内）。
- ・アウトドア型体験（テント・野外）。
- ・富山のイメージアップがないとダメ。どんなところかアピールする。
- ・試食してもらう方法を考える。
- ・まず良いところを知ってもらう（新幹線利用で時間も短縮するので）。
- ・八尾の踊りを東京駅のホームでPRする。
- ・乗客にパンフレットを渡す。

【投票結果】

1位	観光用の交通の改善、利便性と親しみやすさ。	10票
2位	無料自転車で観光できるシステムを作る。	9票
3位	新幹線内の座席ポケットにパンフレットを入れる。	6票
3位	駅ナカでの食文化の発信や飲食店の充実。	6票
5位	駅北地区の地下道、地下街をつくり環水公園までつなげる。	5票

5月25日（日）開催

【各グループのまとめ】

Aグループ

討議1) まとめ	<ul style="list-style-type: none">・観光地により行きやすく、より安く、みんなに知ってもらおう。・どんな観光地があって何が出来るのかを簡単に分かりやすく知りたい。
討議2) まとめ	<ul style="list-style-type: none">・PRする内容や仕方。・地熱、太陽光発電を増やす。・タモリさんに富山に長期滞在してもらい、ニュースにする。・来た人へのPR。・冬季の有志にファンになってもらう。・オバマ大統領に松月に来てもらう。・国会議事堂を富山にもってくる。・富山から総理を出す。
全体まとめ	<ul style="list-style-type: none">・駅周辺を活性化。・駅を出ると人がいない、少ない、さびしい。・駅の近くに宿泊したが食事処が少ない。・まず富山駅周辺で「小さい富山」を楽しめる施設を食事、娯楽、工芸体験。・路面電車の利便性を高める。・駅に観光コンシェルジュを置く。・電車好きの為のテレビ番組の誘致をする。・アルプスエクスプレスを鉄道好きや子供にPRする。

(討議中に出された意見)

- ・県内の観光地まで行くスピードの早さをアピールする。
- ・県内の有名な食べ物などを楽しみに人に来て頂く。
- ・駅前などに案内図等を詳しく書く。
- ・駅に観光マップを置いて回った場所の数によって名産品等をプレゼントする。

B グループ

<p>討議 1) まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・安全。 ・自然（立山・黒部アルペンルート）。 ・電車王国。 ・食（魚メイン）と地酒。 ・学会、合宿、映画ロケ誘致。 ・休養や癒しを田舎に求める。隠れ家的な何か。
<p>討議 2) まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致（富山県民の真面目な県民性アピール）。 ・facebook「いいね！」でPR。 ・「映画一本観ている間に着く富山！半日あったら富山へ！」 →近さをアピール。 ・交通機関が未発達のため、富山駅からは車の旅をアピール。 →レンタカーとのタイアップ：目的別コース提案。
<p>全体まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで行ったことのない富山！をアピール。行ったことのない場所に癒しを求めて来てもらう。 ・駅の一等地に観光案内所を設置して、今まで出来なかった日帰り旅行を提案。8月11日「山の日」を利用して家族で富山に来て頂く。

（討議中に出された意見）

- ・目的地を無理に富山に設定せず、金沢とセットで考える。
→これまで行ったことのない土地、北陸。
- ・学会誘致：規模・内容別、会議場・宿泊場所などを一覧で提案。
- ・新幹線車内の電光掲示板で富山PR。
- ・新幹線＋宿泊でおすすめ郷土料理プレゼント。
- ・富山駅からのバス路線、本数の充実。100円バスを増やして欲しい。

Cグループ

討議1) まとめ	<ul style="list-style-type: none">・立山、雪の大谷、黒部アルペンルート。・新鮮な魚や水。・温泉や自然。・富山と言えば薬。
討議2) まとめ	<ul style="list-style-type: none">・駅舎に観光地の写真展示。・富山県の歴史をもっとPRする。
全体まとめ	<ul style="list-style-type: none">・東京駅にアルペンルートや魚介類、水などのPRブースを作る。・高層ビルのパネルを使って富山をPR。

(討議中に出された意見)

- ・富山の薬は日本一。
- ・富山ソングを作る。
- ・広告、ポスター、小冊子を富山駅で降車客に配布する。

Dグループ

<p>討議1) まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・富山の薬で健康のイメージと食。 ・自然だけは金沢に負けていない。 ・温泉で内から外から健康になる。
<p>討議2) まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新幹線の売り子さんを売薬さんの服装で。 ・はとバスの小さい乗り物でミニツアー。 ・日石寺とかの隠れ名所につなげる。 ・新幹線から富山の名所をつなげるには、富山の名所には行きにくいところが多い。 ・製薬会社とタイアップ。 ・出張で来た方に次はこんなところでのんびりとPRする。キャンプ場やライディングクラブ等。
<p>全体まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・富山の薬をPRし、健康へのイメージ作りをする。(薬膳料理等) ・新幹線内での売り子を売薬商人の格好で、富山→薬のイメージ付け。 ・ビジネス利用客へのPR。 ・キャンプ場やライディングクラブへの誘致。

(討議中に出された意見)

- ・ビジネスで日帰りできる。
- ・飛行機みたいに新幹線にプロジェクターをつけ富山のPRする。
- ・自然が豊か、空気がうまいをPRする。
- ・企業への誘致(ビジネス利用)。
- ・新幹線に薬売り、乱入。富山で元気になるヒントを配る。
- ・「立山の 空にそびえる をおしさに ならへとぞ思ふ みよの姿も」天皇の歌を広めPRする。

E グループ

討議 1) まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電車(新幹線)を降りてからの移動の利便性。 ・ 災害の少なさ。 ・ 乗り換えなしなどの移動のしやすさ。
討議 2) まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安い宿泊施設の整備。 ・ ライトアップなど夜のイベントの開催。 ※夜に行うことにより宿泊客増。 ・ 富山の観光情報をスマートフォンの無料アプリにする。 ・ 観光マップの充実。 ・ 全国放送を行う。
全体まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ スマートフォンでのアプリ充実。 ・ イベントを開催。 ・ 観光マップの更なる充実。 ・ 新幹線を降りた後の交通をよくする。

(討議中に出された意見)

議題 1

- ・ 週末利用のペンションの充実。
- ・ 寒ブリの味覚の楽しみ。
- ・ 食(富山湾の魚・山菜・郷土料理)。
- ・ 安価な観光プラン、宿泊場所。
- ・ 立山観光。
- ・ 水墨美術館。
- ・ 海や山などの自然風景。
- ・ 黒部峡谷・黒部の温泉。
- ・ 立山登山。
- ・ 富山にしかない感激できるもの・体験できるもの。

議題 2

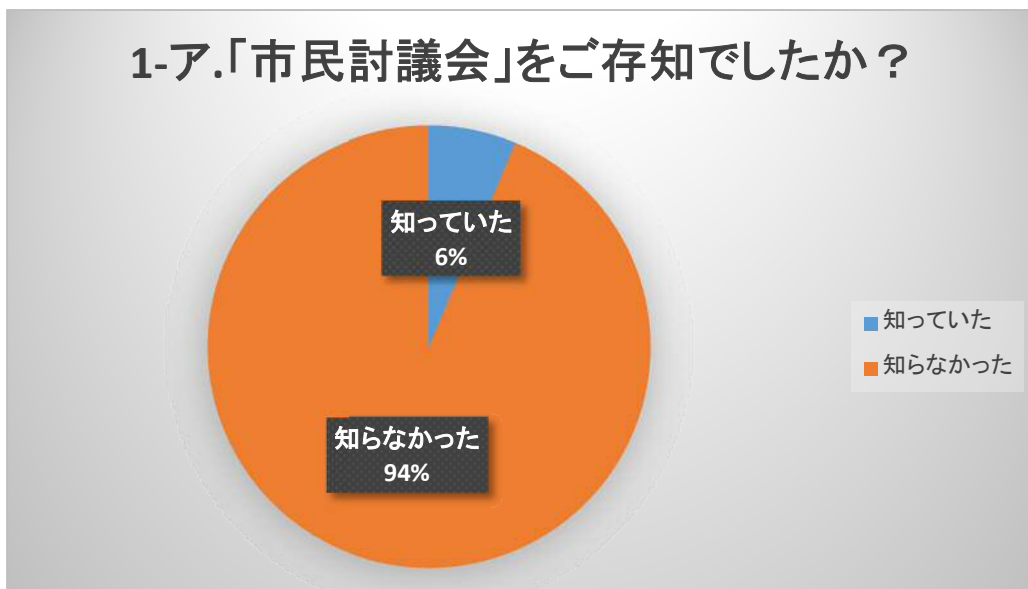
- ・ くすりの富山をアピール。
- ・ タクシードライバーなどの交通機関の運転手の話し方など。
- ・ 市内無料シャトルバス、高齢者運賃無料。
- ・ 富山湾のクルージング。
- ・ 市長によるパフォーマンス。
- ・ 安心、安全の県。
- ・ 駅、車両内に広告掲示、新幹線内に CM 放送。
- ・ 観光案内所の整備。
- ・ 駅前などにインパクトの強いモニュメントの作成。

【投票結果】

順位	まとめ（投票対象）	投票数
1位	駅周辺の活性化。	8票
2位	8月11日の山の日を利用し家族旅行などの目的別の提案をする。	6票
2位	新幹線の売り子さんを売薬さんのコスチュームにする。	6票
2位	出張で来た方に「次はこんな所でのんびり」とアピールする。	6票
2位	新幹線降車後の2次交通をよくする。	6票

Ⅲ 参加者アンケート結果

1 (ア) 案内が来た時点で、「市民討議会」をご存知でしたか？

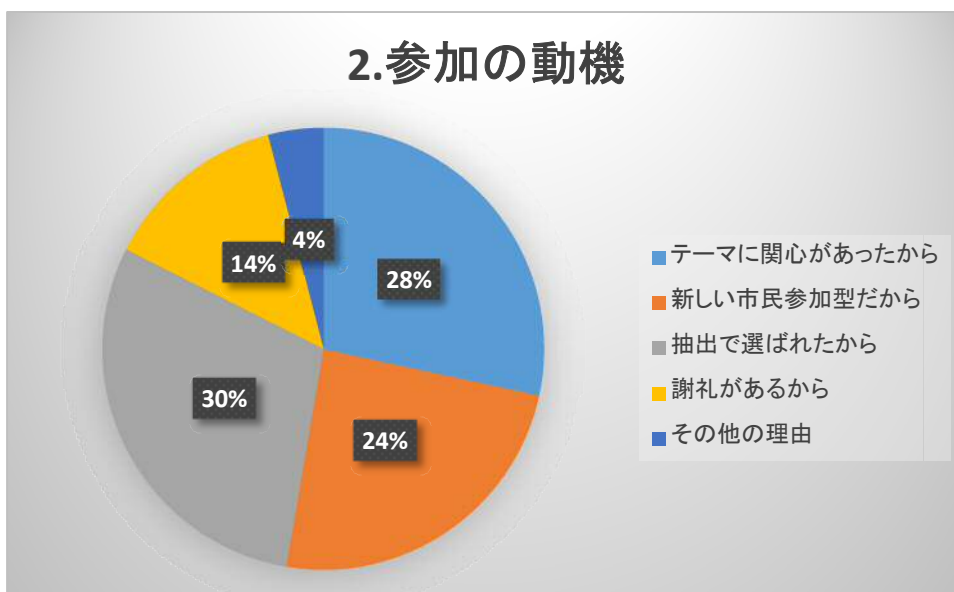


- ・ 知っていた 3 票
- ・ 知らなかった 44 票

1 (イ) 知っていた方は、何でご存知でしたか？

- ・ 行政の広告で 1 票
- ・ 以前に参加した知人を通して 1 票
- ・ その他の理由 1 票

2 参加の動機に関してお聞かせください。(複数回答可)

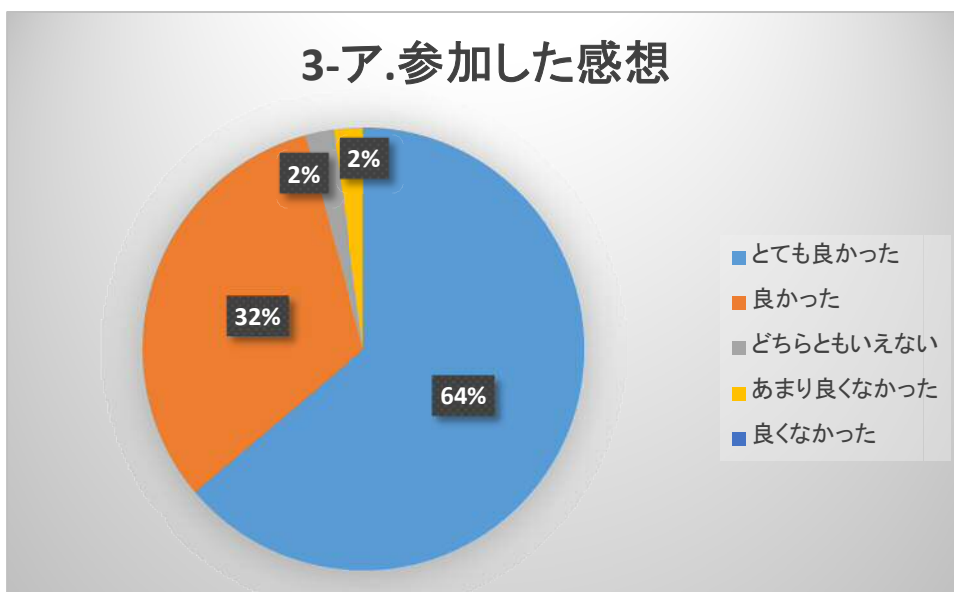


- ・ テーマに関心があったから 21票
- ・ 新しい市民参加型だから 18票
- ・ 抽出で選ばれたから 22票
- ・ 謝礼があるから 10票
- ・ その他の理由 3票

【その他の意見】

- ・ 時間があるから、勉強のため。
- ・ 家族に強く勧められたため。
- ・ 小売業を営んでおり、自分の店を活性化させるために、こういう機会に参加してみることがいいと思ったので。

3 (ア) 参加された感想をお聞かせください。



・ とても良かった	30票
・ 良かった	15票
・ どちらともいえない	1票
・ あまり良くなかった	1票
・ 良くなかった	0票

(イ) (ア) で選ばれた理由をお聞かせください。

(とても良かった、良かった)

- ・ 広い視点で、新幹線についての現状を知ることができた。また県市民の一員として、まちづくりに高い関心をもつことができた。
- ・ 内容的に意義のあるものでした。
- ・ 富山について知ることができて良かったです。さまざまな年齢の方とお話できてこれから富山が発展していくテーマをともに話し合うことができて良かったです。
- ・ いろんな年代の方の考え方を聞くことができた。
- ・ 幅広い意見を聞くことができてよかった。
- ・ テーマが漠然としていた。
- ・ 異なった世代の人と議論でき、とても勉強になった。
- ・ 富山市について深く知る機会となった。

- ・ これからも富山市の良さを県外にPRしていきたい。
- ・ はじめて知った市の事業など興味深かった。
- ・ 色々な人の意見を聞いた。
- ・ 仕事とは違う目線でいろいろ考えることができ、また、年代の違う方々と話し合う良い機会となった。
- ・ 新しい発見があった。
- ・ 色々な人の話が聞けて良かったです。
- ・ 多くの意見を直接聞くことができた。
- ・ 身近に行政を見ることができました。
- ・ 知らない方と意見交換できたことがとても楽しかったです。
- ・ 県外から引越してきましたので、感じた事を言えて良かった。知らない郷土料理を知れた。
- ・ いろんな世代の方々の意見を聞くことができたから。
- ・ 郷土料理についてあまり関心がないため、知識も乏しかった。よく知ることができた。
- ・ 多様な意見が聞けたので良かったです。
- ・ 自分の意見をなかなか出せる機会がないので、良い機会だった。
- ・ またまったく違う人たちとの意見交換ができた。
- ・ なかなかできない経験ができたから。
- ・ 新しい富山が見れる気がしたので。
- ・ いろんな意見、発想を聞くことができた。おもしろかった。
- ・ 普段考えることはあっても意見を言う機会はないので良かった。
- ・ 堅苦しくなく、自由に意見交換ができた。
- ・ ひとり一人がゆっくりとディスカッションできた。あらためて富山について考え直し、来年がまた楽しみでもあります。

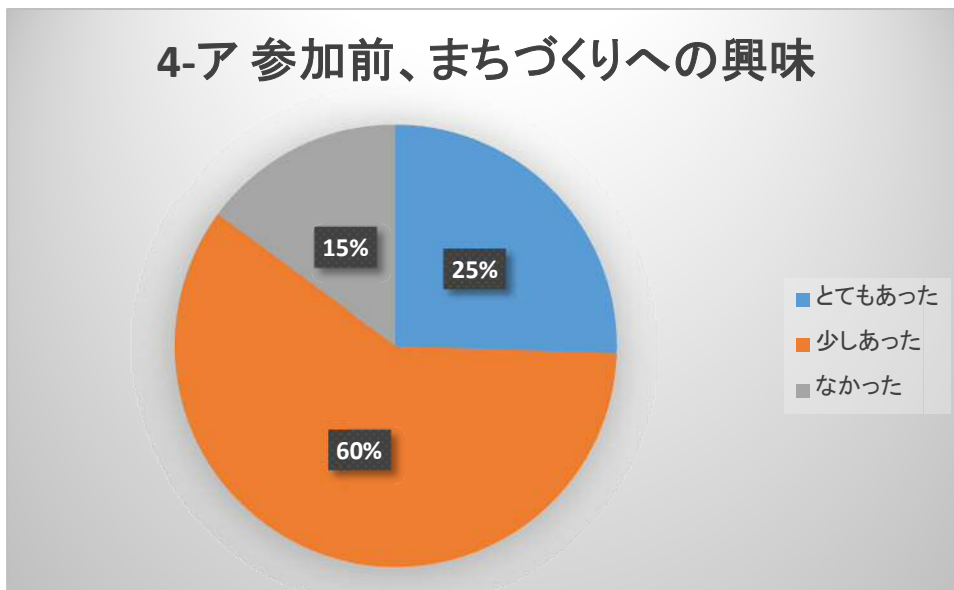
(あまり良くなかった)

- ・ 情報不足。もっと他にすべき事があるのでは。パフォーマンスではないか？

(どちらともいえない)

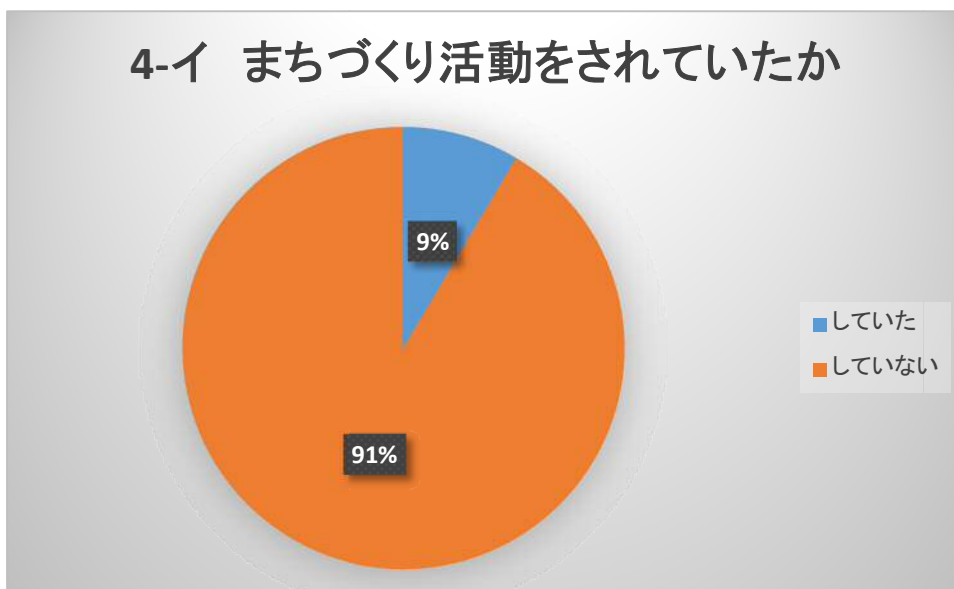
- ・ まとめ方にもう少し時間が欲しかった。(グループの発表内容について)

4 (ア) この討議会に参加する前、「まちづくり」に対して興味がありましたか？



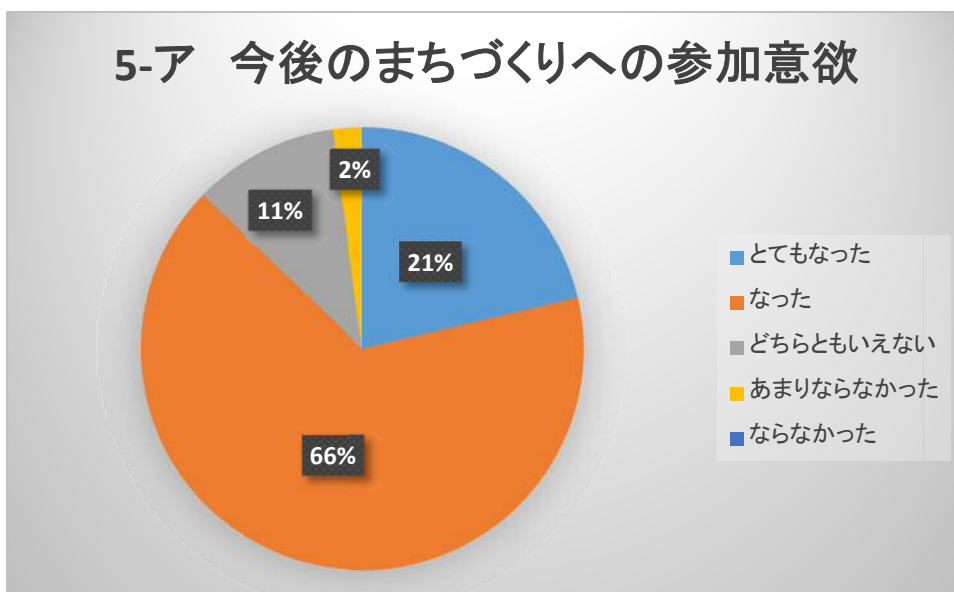
- ・ とてもあった 12票
- ・ 少しあった 28票
- ・ なかった 7票

(イ) この討議会に参加する前、「まちづくり」に関わる活動をされていたか？



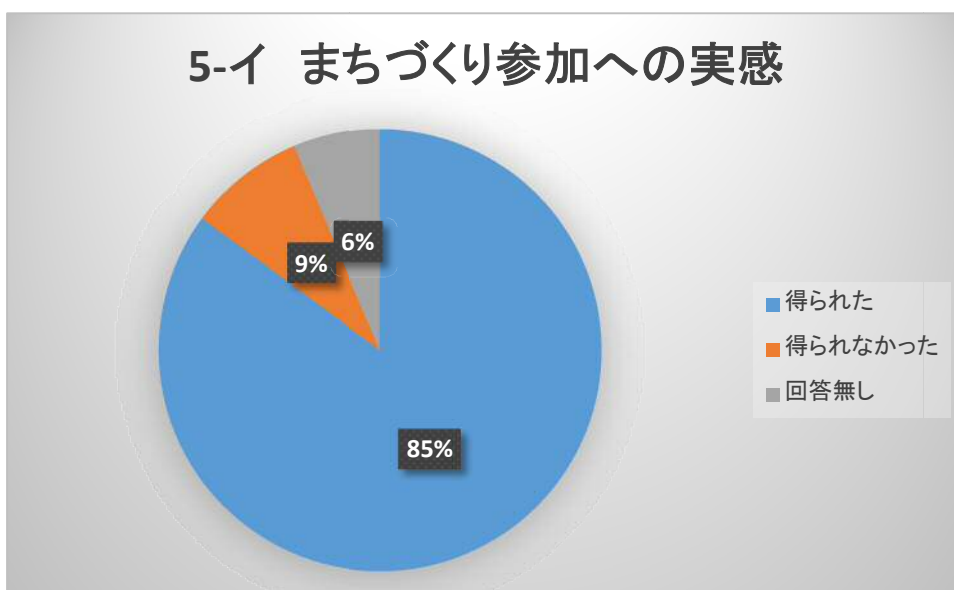
- ・ していた 4票
- ・ していない 43票

5 (ア) 討議会に参加して、これからも「まちづくり」に参加していこうという気持ちになりましたか？



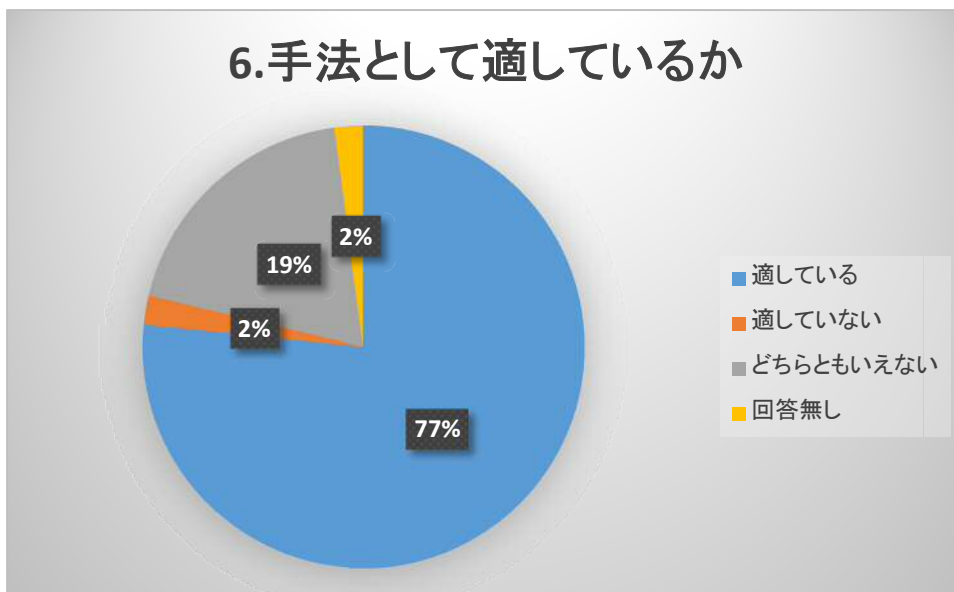
- ・ とてもなった 10票
- ・ なった 31票
- ・ どちらともいえない 5票
- ・ あまりならなかった 1票
- ・ ならなかった 0票

(イ) この討議会に参加して「まちづくり」に参加しているという実感を得られましたか？



- ・ 得られた 40票
- ・ 得られなかった 4票
- ・ 回答なし 3票

6 この討議会は市民の声を行政に伝える手法として適していると思いますか？また、意見があればお聞かせください。



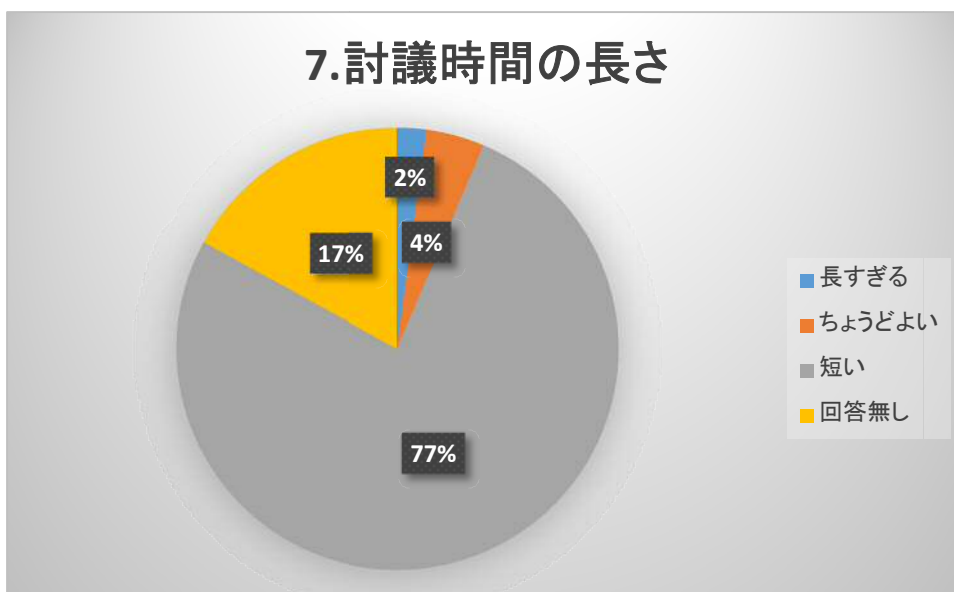
- ・ 適している 36票
- ・ 適していない 1票
- ・ どちらともいえない 9票
- ・ 回答なし 1票

(意見)

- ・ 県庁・市役所の幹部が出席していないため、決定権がない。
- ・ 継続していつてくださることを願っております。
- ・ 継続してください。
- ・ 継続して実施してください。
- ・ 大変勉強になりました。
- ・ 手法としては良いと思いました。本来はもっと簡単に行政に伝えられる方法があるとよりベターです。
- ・ アンサーを期待しています。
- ・ あとは結果のPR法。
- ・ 長く続くことを期待しています。

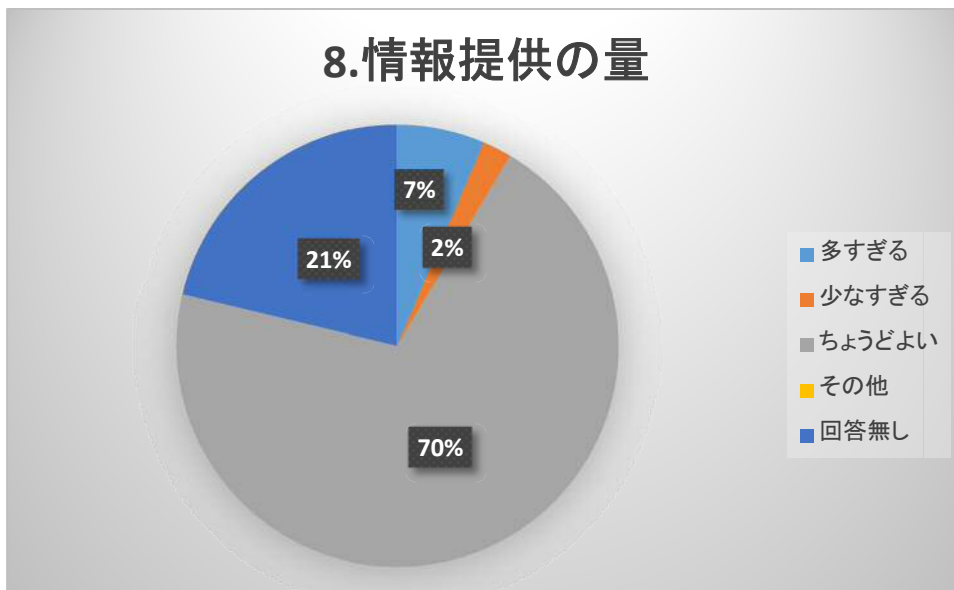
- ・ 九州の七つ星のような列車を考えてくだされば、リピーターが増えると思います。
- ・ 回数を増やして、多くの方々の意見が聞ければもっと良いのではと思いました。
- ・ 小学校のPTA等にも声掛けをして意見を聞くもよし、50代後半だと別の意見も聞けそう。
- ・ タウンミーティングよりは適していると思う。
- ・ 他の手法はよく知らないのですが、意見を言うことで参加している意義も感じられた。
- ・ 藤の木校下に小中学校以外に公の施設がありません。災害の時、逃げ場がないので困る。

7 討議の時間についてお聞かせください。



- | | |
|----------|------|
| ・ 長すぎる | 1 票 |
| ・ ちょうどよい | 2 票 |
| ・ 短い | 36 票 |
| ・ 回答なし | 8 票 |

8 情報提供の量についてお聞かせください。



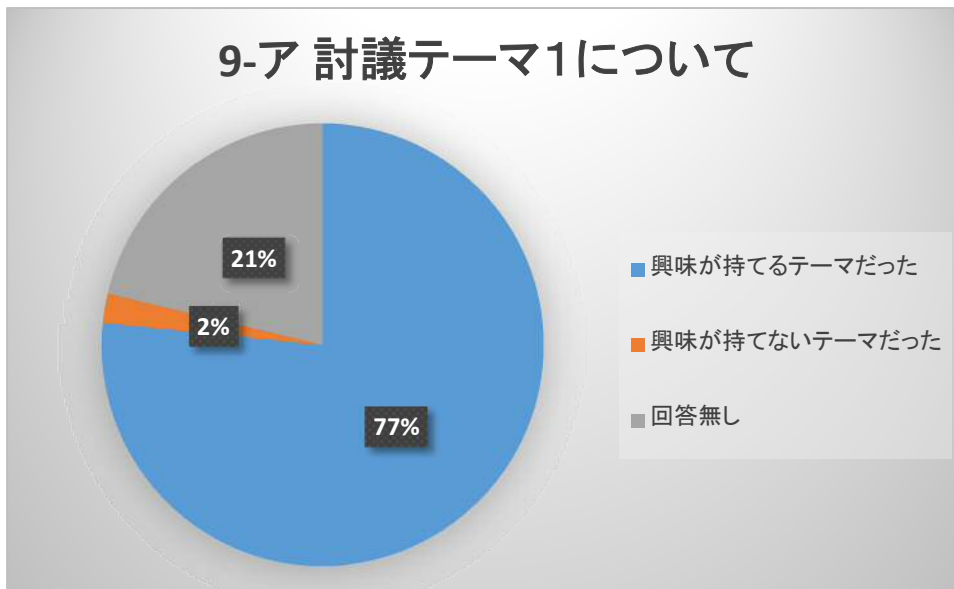
- | | |
|----------|------|
| ・ 多すぎる | 3 票 |
| ・ 少なすぎる | 1 票 |
| ・ ちょうどよい | 33 票 |
| ・ その他 | 0 票 |
| ・ 回答なし | 10 票 |

(意見)

- ・ カードに記入する時間が短く、自分の頭の中を整理する時間が足りなかった。
- ・ わかりやすいと思います。
- ・ 富山市中心街の活かし方の検討。
- ・ 資料の読み上げは不要。市が持っている情報は表面的。
- ・ 時間をはかっておられて、だらだらせず良かったです。

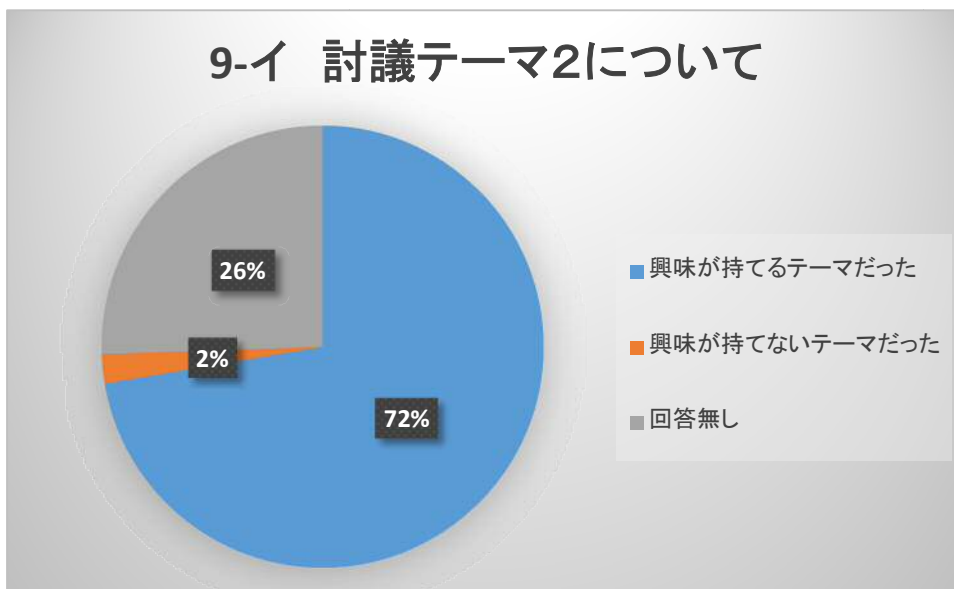
9 討議テーマについてお聞かせください。

(ア) 討議1について



- ・ 興味が持てるテーマだった 36票
- ・ 興味が持てないテーマだった 1票
- ・ 回答なし 10票

(イ) 討議2について

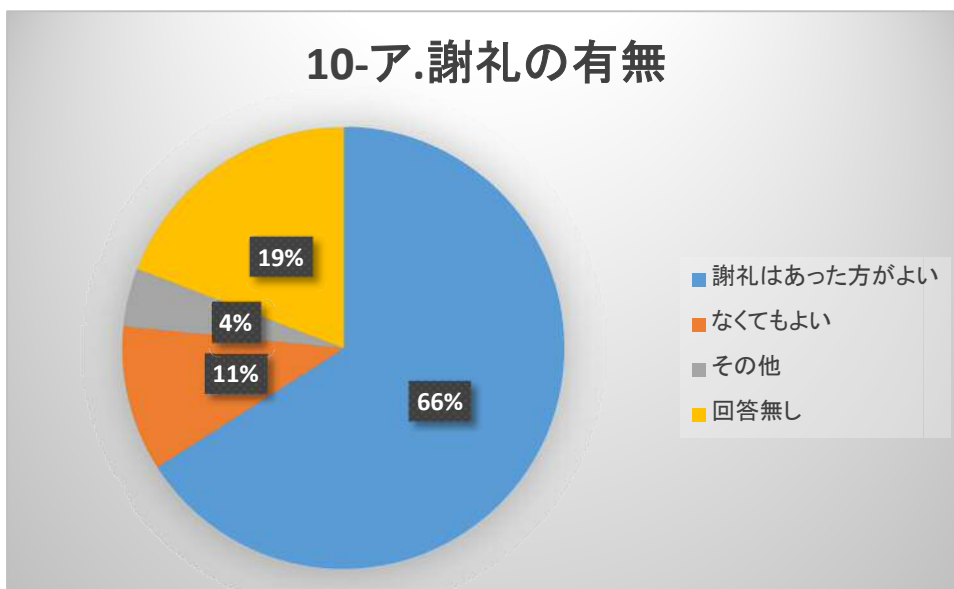


- ・ 興味が持てるテーマだった 34票
- ・ 興味が持てないテーマだった 1票
- ・ 回答なし 12票

(ウ) 話し合ってみたいテーマがあれば、ご記入ください。

- ・ 借金のない市とするための施策。
- ・ 新幹線開通に伴う富山県民の意識を変えていくには。
- ・ 富山市内の交通。
- ・ 富山へ定住させるためには。
- ・ コンパクトシティ。
- ・ 富山の薬膳料理。
- ・ 災害に強いまちづくり。
- ・ 過疎化。
- ・ 観光産業。
- ・ 観光会社等との意見交換。
- ・ 子育て支援について。
- ・ 富山駅の改築と今後について。

10 (ア) 謝礼についてお聞かせください。



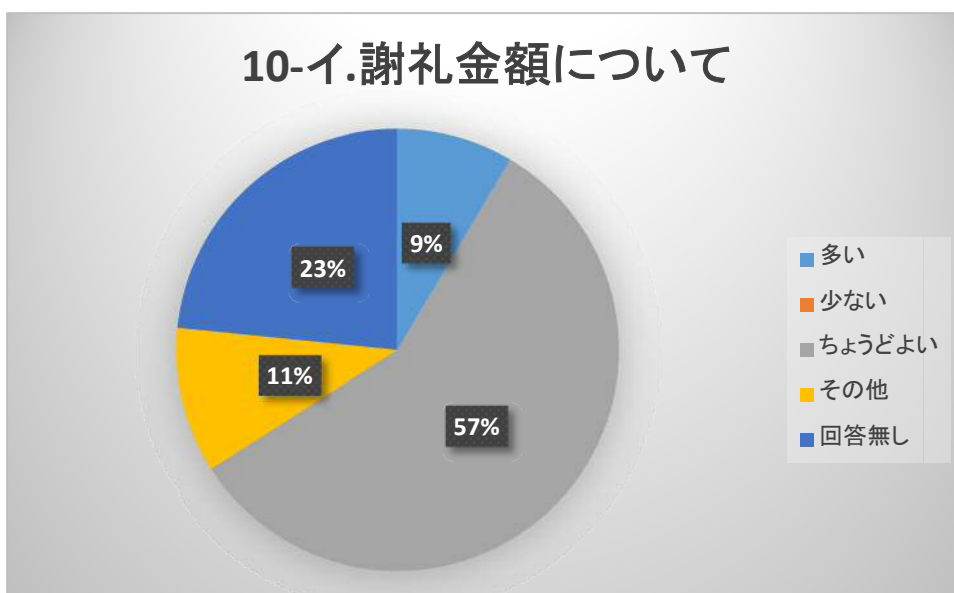
- ・ 謝礼はあった方がよい 31票
- ・ なくてもよい 5票

- ・ その他 2 票
- ・ 回答なし 9 票

(意見)

- ・ 謝礼をもらうので真剣に責任を感じて参加することができた。
- ・ あってもよいのでは。
- ・ 昼食+駐車場代程度があれば助かる。
- ・ あったらうれしい。

(イ) 謝礼金額についてお聞かせください。

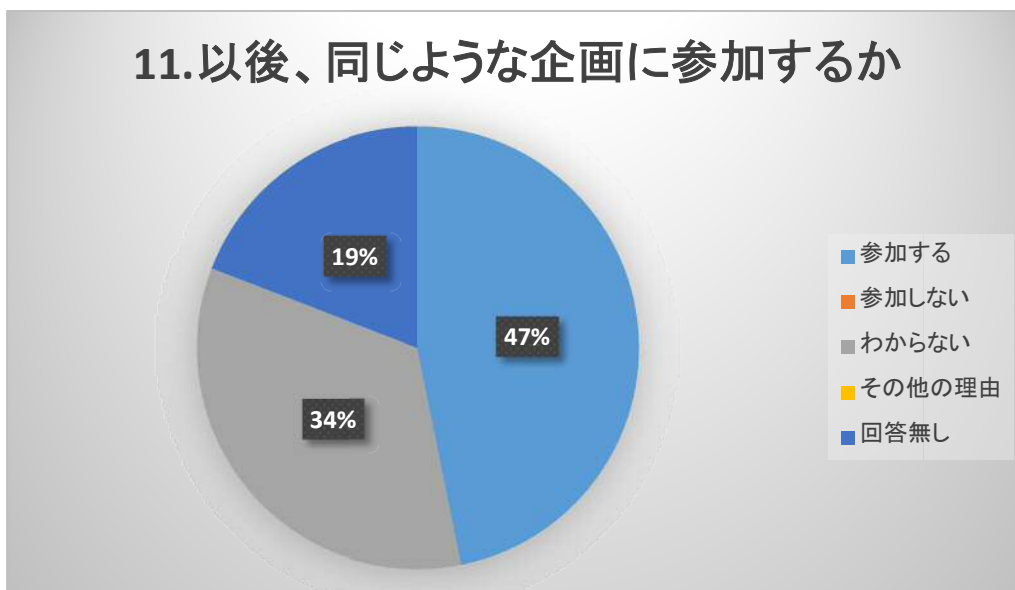


- ・ 多い 4 票
- ・ 少ない 0 票
- ・ ちょうどよい 27 票
- ・ その他 5 票
- ・ 回答なし 11 票

(意見)

- ・ ボランティアで良いと思う。お金でない。

1 1 以後、同じような企画の参加要請があった場合、参加しますか？



- ・ 参加する 22票
- ・ 参加しない 0票
- ・ わからない 16票
- ・ その他の理由 0票
- ・ 回答なし 9票

(その他の理由)

- ・ 自分の考えが触発され、次回はもっと積極的に参加できると思った。
- ・ 討議内容による。

1 2 本日の討議会を通して感じた事やご意見等を自由にご記入ください。

- ・ 飲料水にしても県内の企業のものを使用する。地元のものを使用する。
- ・ 皆さん、富山がもっと賑わえばいいと考えていらっしゃる人が多いと実感した。また、改めて富山の宝に気が付いた感じであった。
- ・ これを機会に自分をもう一度、自分に何かできることはないか問うきっかけになりました。ありがとうございました。(60歳をこえたが)
- ・ お疲れ様でした。
- ・ 異年齢の方々と話し合ったことが良かったです。
- ・ 皆さんこの街が大好きで、でも残念なことも知っていることがわかりました。新幹線を機に「富山元気になったね」といわれると良いですね。

- ・ 幅広い世代の人と話ができてよかったです。
- ・ 今後もこういった機会があれば参加したい。本来は、こういった討議会に来ないような人の意見を吸い上げる仕組みがあるといいかも。
- ・ スケジュールを事前に知らせてもらえともっとスムーズだった。
- ・ このような取り組みがあることを知らなかったので、新鮮でよかった。
- ・ 市内の美化。シンボリックな灰皿の設置、歩道・中央分離帯の除草。せっかくの並木道がかわいそうです。郊外がひどい。
- ・ 良い経験になったので抽選に当たれば参加したい。
- ・ 進行が時間でおされていたと思った。
- ・ 意見の違いもあり、楽しく討論させていただきました。
- ・ 皆さん、きちんと意見を持って参加されて参考になりました。
- ・ 司会の方が上手で進行がよく理解でき楽しかった。資料もあり、良かった。
- ・ 自分の思っていることが、みなさんとお話することができてよかったです。
- ・ 緊張しましたが、楽しかった。案内の字が小さい。
- ・ 実際のテーマが事前にわかれば予習してこれたかもしれません。
- ・ 富山の良いところを再認識できてた。私は八尾の出身で、おわらに来た人が二度と来ないというのをよく耳にします。地元の人にとっては、受け入れ体制がないまま有名になりすぎたと思います。人を呼ぶからには受け入れ体制を整えることが大切だと思います。
- ・ とても勉強になり良かったです。私たちの意見が富山市のまちづくりに役立つと良いです。
- ・ 勉強になりました。

<参考資料> ①市民討議会 開催案内書

平成26年 4月 吉日

各 位

富山市長 森 雅志
公益社団法人富山青年会議所
理事長 高平公輔

「とやま まちづくり市民討議会 2014」の開催について（ご案内）

日頃から、市行政について格別のご理解をいただき、厚くお礼申し上げます。

このたび、富山市と公益社団法人 富山青年会議所の共催により、「とやま
まちづくり市民討議会 2014」を開催いたします。

この市民討議会は、まちづくりの課題や地域の身近なテーマについて討議して
いただき、市民主役のまちづくりの実現に向けた新しいスタイルの会議です。

今年の討議テーマは「とやまの郷土料理」と「新幹線開業を見据えた観光の取り
組み」を予定しております。

皆様には、同封しましたパンフレットをご覧ください、是非ご参加くださいますよう
ご案内いたします。出欠につきましては、同封のはがきにて5月9日（金）までに
ご返信願います。

なお、本案内は富山市の住民基本台帳から無作為抽出した18歳以上の市民1、
000名の皆様に送付させていただいております。

（お問合せ先）

富山市役所商業労政課

TEL 076-443-2070

（公社）富山青年会議所

TEL 076-433-3334

とやまの郷土料理

富山県農林水産部農産食品課

「郷土料理」とは

- 「それぞれの地域独特の自然風土・食材・食習慣・歴史文化等を背景として、地域の人々の暮らしの中での創意工夫により必然的に生まれたものであり、家族への愛情や地域への誇りを持ちながら作り続けられ、かつ地域の伝統として受け継がれてきた調理・加工方法による料理」
- 言い換えれば、「季節の旬の素材とその保存・活用等により、その土地で培われた伝統的な料理法で調理された、それぞれの土地自慢の味」

「郷土料理百選」

- 農林水産省では、平成19年度、全国各地の農山漁村で脈々と受け継がれ、かつ「**食べてみたい！食べさせたい！ふるさとの味**」として、国民的に支持されうる郷土料理を「郷土料理百選」として選定しました。

・富山県は・・・？

都道府県	郷土料理百選		
北海道	ジンギスカン	石狩鍋	ちゃんちゃん鍋
青森県	いちご煮	せんべい汁	
岩手県	わんこそば	ひっつみ	
宮城県	ずんだ餅	はらこ鍋	
秋田県	きりたんぼ鍋	稲庭うどん	
山形県	いも煮	どんがら汁	
福島県	こづゆ	にしんの山椒漬	
茨城県	あんこう料理	そばら餅	
栃木県	しもつかれ	ちたけそば	
群馬県	にっまるこみ	生芋こんにゃく料理	
埼玉県	冷汁うどん	いが餅	
千葉県	太巻寿司	イワシのごま漬	
東京都	深川丼	くさや	
神奈川県	へらへら団子	かんこ餅	
新潟県	のっぺい汁	佐渡鍋	
富山県	ます寿し	ぶり大根	
石川県	かぶら寿し	治部（じぶ）煮	
福井県	越前おろしそば	さばのへしこ	
山梨県	ほうとう	吉田うどん	
長野県	信州そば	おやき	
岐阜県	菜羹とん	朴葉（ほおば）みそ	
静岡県	桜えびのかき揚げ	うなだの巻餅	
愛知県	ひつまぶし	味噌煮込みうどん	
三重県	伊勢うどん	てこね寿司	

都道府県	農山村の郷土料理百選		
茨城県	ふなずし	鴨鍋	
京都府	京漬物	筑前なすの田楽	
大阪府	船寿司	白みそ雑煮	
兵庫県	ぼたん鍋	いかなごのくぎ煮	
奈良県	柿の葉寿司	三輪もろめん	
和歌山県	鯉の竜田揚げ	めはりずし	
鳥取県	かに汁	あごのやき	
島根県	出雲そば	しじみ汁	
岡山県	ばらずし	ママカリずし	
広島県	カキの土手鍋	あなご飯	
山口県	ふく料理	岩田寿司	
徳島県	そば米雑炊	ぼうざの安寿司	
香川県	讃岐うどん	あんもち雑煮	
愛媛県	宇和島鍋めし	じゃこ天	
高知県	かつおのたたき	豆餅（さわか）料理	
福岡県	水炊き	がめ煮	
佐賀県	呼子イカの唐きづくり	浜古煮し	
長崎県	卓袱（しっほく）料理	異雑煮	
熊本県	豚刺し	いきなりだご	からしれんこん
大分県	ブりのあつめし	ごまだしうどん	手廻べだんご汁
宮崎県	地鶏の炭火焼き	冷やし汁	
鹿児島県	鶏餅（けいはん）	きびなご料理	つけあげ
沖縄県	沖縄そば	ゴーヤーチャンプルー	いかすみ汁

富山県の主な郷土料理

- かぶら寿司、ぶり大根、ホタルイカの酢味噌和え、白海老料理、イカの鉄砲焼き、おすわい、越中ばいの焼き物、いところ煮、くるみ和え、けんちん汁、黒作り、べっこう・ゆべし、干柿、カブス汁、細工蒲鉾、昆布巻蒲鉾、昆布締め、山菜おこわ、鱈汁、あんじやなます、ズイキの酢の物、干しズイキ料理、鱒寿司、おかき、よごし、磯巻き、五箇山豆腐、よしな料理、げんげ汁…

全国最多109料理



富山の食とその背景

1 日本の中の富山

～富山の食の特徴とその背景～

- ①米とのかかわりとこだわり
- ②野菜と家畜の利用
- ③魚好き
- ④昆布の消費
- ⑤真宗王国と精進料理



2 県内地域による違い

- ①呉西と呉東
- ②野菜料理の豊富な砺波散居村
- ③特異な五箇山
- ④氷見灘浦は半農半漁
- ⑤良質米の宝庫、富山周辺
- ⑥専業漁業の多い新川

<参考資料> ③富山市 情報提供資料「北陸新幹線開業を見据えた観光の取り組み」



観光振興施策について

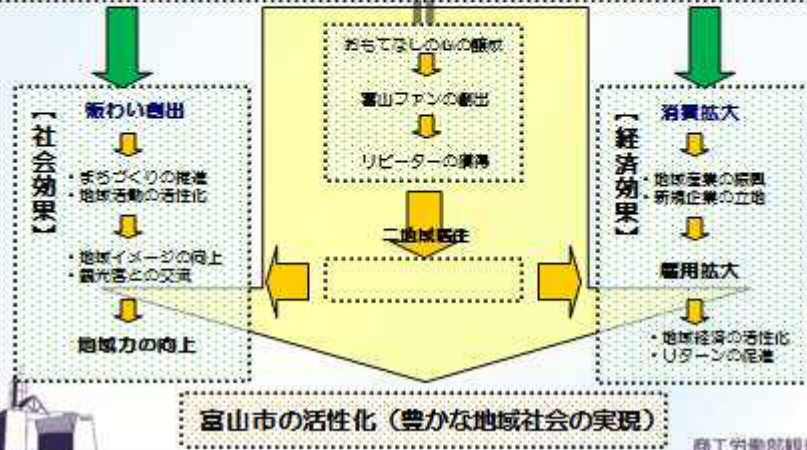
1・富山市の観光振興施策の目的について	1
2・現状について（観光客入込みの動向）	2
3・施策の取り組みについて	3
①北陸新幹線開業に向けての取組み	4～8
②観光イベントの開催	9
③観光客の誘致強化	10～12
④広域観光滞在型観光の推進	13～17
⑤国際観光の推進	18～19
⑥コンベンション等の誘致	20～23
⑦フィルムコミッション事業	24～25



1・宮山市の観光振興施策の目的について

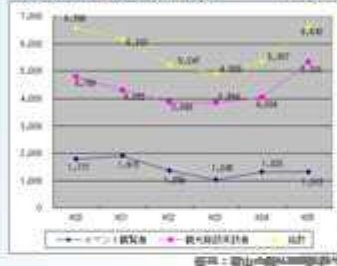
観光客の増加（交流人口の拡大）

- ・北陸新幹線開業に向けての取り組み
- ・観光イベントの開催
- ・観光客の誘致強化
- ・広域観光 滞在型観光の推進
- ・国際観光の推進
- ・コンベンション等の誘致
- ・フィルムコミッション事業

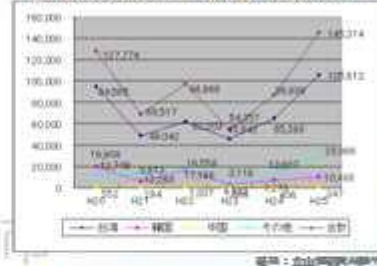


2・現状について（観光客入込みの動向）

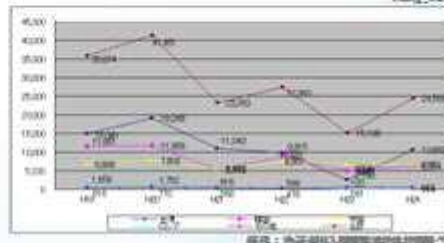
富山市への観光入込客数 [単位：千人]



立山黒部アルペンルートの外国人入込客数 [単位：人]



富山空港国際線の外国人利用者数 [単位：人]



3・施策の取り組みについて

①北陸新幹線開業に向けての取り組み

- ・新幹線開業による効果
- ・観光拠点としての利便性向上
- ・富山ファン創出おちてなし事業
- ・観光案内所の整備
- ・富山県との連携

②観光イベントの開催

- ・全日本チンドンコンクール
- ・富山まつり など
- ・LEDライトアップ事業

③観光客の誘致強化

- ・「山ガール」富山市PR事業
- ・観光キャンペーン事業
- ・観光客誘致宣伝事業
- ・都市間観光交流推進事業
- ・全日本チンドンコンクールへの誘致活動
- ・観光PR事業
- ・孫とおでかけ事業
- ・受入体制の充実

④広域観光 滞在型観光の推進

- ・広域観光の推進
- ・二次交通利用促進事業
- ・滞在型観光開発促進事業
- ・観光費用の負担軽減と利便性の向上
- ・滞在型観光バスツアー補助事業
- ・山岳観光の推進

⑤国際観光の推進

- ・外国人観光客誘致宣伝事業
- ・二次交通利用促進事業
- ・外国人観光客誘致推進事業
- ・外国語表示観光案内板の整備
- ・外国語表示案内板設置補助事業
- ・宿泊施設外国人向け設備導入奨励事業

⑥コンベンション等の誘致

- ・国際会議場の運営
- ・コンベンションの開催支援
- ・合宿等の誘致
- ・合宿の受入態勢の整備
- ・アドベンチャー施設利用助成事業
- ・コンベンションタクシー助成事業

⑦フィルムコミッション事業

- ・富山フィルムコミッションの運営
- ・「FRALWAYS 愛を伝えられない大人たちへ」



①北陸新幹線開業に向けての取り組み

(1) 新幹線開業による効果

富山県、国体園からのアクセス向上

	乗車時間		新幹線開業後	
東京ー富山	3時間11分	⇒	2時間 7分	〔約1時間短縮〕
大阪ー富山	3時間16分	⇒	2時間57分	〔19分短縮〕

北陸新幹線沿線都市からのアクセス向上

	乗車時間		新幹線開業後	
高崎ー富山	2時間40分	⇒	1時間30分	〔1時間10分短縮〕
長野ー富山	2時間48分	⇒	48分	〔約2時間短縮〕
金沢ー富山	37分	⇒	15分	〔22分短縮〕

参考：富山県北陸新幹線対策連絡協議会

(2) 観光拠点としての利便性向上

立山黒部アルペンルートの玄関口

東京ー大町入り/振り分けー富山ー東京	2時間48分	⇒	3時間44分
東京ー大町入り/黒部ダム折り返しー東京	3時間36分		

※ 特急スーパーあずさを利用

※ 黒部ダム折り返しは大町入りの29.8%、1722千人(平成28年)

富山県から富山入りし、大町へ抜けるプランが選択可能となり、アルペンルートを利用する観光客が富山に立ち寄る機会が増加する

飛騨・高山方面への経由

東京ー名古屋経由ー高山	3時間53分		〔最速の乗車時間〕
東京ー富山経由ー高山	4時間39分	⇒	3時間35分

富山県から高山へ行く場合、富山経由のほうが名古屋経由より有利になる



【九州新幹線の状況】

- ・平成23年3月に全線開業
- ・停車駅の少ないタイプの新幹線が停車する「鹿児島中央駅」と「熊本駅」の利用者多い。
 (平成23年4月～12月 資料：JR九州)
 鹿児島中央駅・・・14,150人/日平均
 熊本駅・・・13,550人/日平均
 久留米駅・・・2,650人/日平均
 新八代駅・・・1,950人/日平均
 川内駅・・・2,900人/日平均
- ・東日本大震災の影響を受け、日本全体に観光自粛ムードが広がったなか、JR九州・全線では前年比3.8%増、貸切バスは11.1%増など、全体が押し上げられた。(九州運輸局)
- ・観光列車の運行
 JR九州は新幹線停車駅と観光地を結び観光列車を運行し、観光客の獲得とともに、列車自体が観光になる対策を講じた。
- ・蓄地型観光の推進
 九州各地で「蓄地型観光」が推進されている。
 観光協会、旅館組合、コンベンション機関などのほか、牧場、酒店、飲食店、写真家など多様な主体が取り組んでいる。



※蓄地型観光・・・観光客を受け入れる地域の旅行業者が企画するツアー

(3) 富山ファン創出おもてなし事業

北陸新幹線開業に向けて3カ年計画で、市民が主体となり、地域の価値発見や地域資源を活用した事業化、地域活性化を推進する人材の育成などを通し、受入態勢を整え、市民のおもてなしの心を醸成することで、富山ファンの創出を図る。



H25.8.22開催
第1回ワークショップ



H25.9.19開催
第2回ワークショップ



(4) 観光案内所の整備

北陸新幹線開業に伴う富山駅の整備にあわせ、駅舎内に観光案内に特化した機能を有する「観光案内所」を新設する。



独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構から提案された北陸新幹線富山駅デザイン案



(5) 富山県との連携 (県事業)

【平成25年度】

- (ア) 「富山で休もう。」キャンペーン (北陸新幹線開業1年間の観光キャンペーン)
富山旅行の魅力を強かにアピールするとともに、観光関係者の機運の醸成を図るため、県下一斉の官民一体となった観光キャンペーンを実施。
・山手線大規模広告
・観光情報誌の作成
・宿泊予約サイトでのキャンペーン広告 など
- (イ) 「とやまweek in 東京」の開催
東京丸の内・丸ビルマルキューブで開催
新幹線開業、富山の観光・食・伝統文化等を総合的に発信
(富山市はおわら、チンドン、ガラス等をPR)

【平成26年度】

- (ア) 北陸3県連携によるデスティネーションキャンペーン(DC)の開催に向けて
 - ①フレDCキャンペーンの開催(10月~12月(予定))
 - ②全国宣伝販売促進会議の開催(10月15日~17日)
全国の旅行者等約900人が参加し富山県内で開催
 - ③DC特別商品・特別企画の造成、受入機勢の整備などの取組み
- (イ) 「富山で休もう。」推進協議会の設立
北陸新幹線開業および北陸DCの効果県内への観光客誘致、観光による地域活性化に最大限に結び付けていくために、観光関係団体等による推進組織を立ち上げ、持続的な観光の取組みを進める。
- (ウ) 「とやまweek in 東京」の開催

【平成27年度】

- (ア) 北陸DCキャンペーンの開催(10月~12月(予定))
JRグループ、旅行会社等が協力して実施する日本最大規模の観光キャンペーン



②観光イベントの開催

(ア) 第60回全日本チンドンコンクール	4月4日(金)～6日(日)
(イ) 虹のかけはし(LEDライトアップ事業)	7月下旬～9月上旬
(ウ) 第54回富山まつり	8月1日(金)～3日(日)
(エ) 立山山麓音楽祭	8月23日(土)
(オ) おわら風の盆前夜祭	8月20日(水)～30日(土)
(カ) おわら風の盆	9月1日(月)～3日(水)
(キ) とやまスノーピアート	12月上旬～2月中旬

富山市



商工労働部観光振興課 9

③観光客の誘致強化

(1) 虹のかけはし(LEDライトアップ事業)

太陽光発電等により給電するLEDバットボトル型照明等を用いて、牛岳温泉スキー場をライトアップし、中山間地と都市部との交流人口の拡大を図るとともに、新しい観光資源としてPRする。

(2) 「山ガール」富山市PR事業

首都圏をはじめ県内外において、「山ガール」と呼ばれる若い女性や山岳・アウトドアに関心のある層などを中心に広く「立山あおく等野席。富山市」、「山を楽しむベースキャンプシティ」として本市の魅力を各種メディアを通してPRする。

(3) 観光キャンペーン事業

県及び県内自治体と連携し、観光資源を生かした体験プログラムを造成し、当該プログラムをPRして旅行商品化を目指す。

(4) 山岳パンフレット作成事業

本市の山岳観光資源である栗原岳周辺をPRするパンフレットを作成する。



虹のかけはし
(山田地域ライトアップ事業)



立山山麓トレッキングイベント

富山市

商工労働部観光振興課 10

(4) 観光客誘致宣伝事業

- (ア) 観光物産展等での観光PR
- (イ) 旅行エージェント訪問等による誘致活動

(5) 都市間観光交流推進事業

岐阜市、長野市、新山市と富山市との間でそれぞれ締結している協定に基づき観光・物産振興において連携することで、両市間の観光交流を実現するもの。

(6) 全日本チンドンコンクールへの誘客活動

富山の春の風物詩として60年の歴史を誇り、プロのチンドンマンがその技とアイデアを競い合う全国唯一のイベントである全日本チンドンコンクールにおいて、県外観光客を誘客するため、県外旅行エージェントへのツアー企画の依頼等を行う。

- 実施計画
- ・9月に関東・中京・関西を中心に旅行エージェントを訪問し、ツアーの企画・販売を依頼する。
 - ・会場内に無料の宿泊者優先席およびツアー客優先席を用意する。



H25 春のせんい祭り

(7) 観光PR事業

本市の観光資源を広くPRし誘客を図るため、観光パンフレットの作成や新聞等へのPR広告を行う。



(8) 孫とおでかけ事業

高齢者の外出機会を促進し、世代間交流を通じて家族の絆を深めることを目的に、一緒に観光施設を利用する祖父母と孫を対象とした運営主体が実施する施設利用料減免に対し、割の引き相当額を助成する。

＜対象施設＞

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ジップライン・アドベンチャー立山 ・八尾尖山展示館 ・ファミリーパーク ・科学博物館 ・天文台 ・郷土博物館 ・佐藤記念美術館 ・エコリンク | <ul style="list-style-type: none"> ・民俗民芸村 ・浮田家 ・新家 ・大山歴史民俗資料館 ・八尾化石資料館 ・八尾おわら資料館 ・捨谷開所館 |
|--|--|

富山市

(9) 受入体制の充実

- (ア) 観光サポーター研修
- (イ) 観光タクシースキルアップ事業
- (ウ) 都市景観の整備



④広域観光・滞在型観光の推進

(1) 広域観光の推進

(ア) 北陸新幹線停車駅都市観光推進会議

構成都市(11市)
 高岡市、上田市、長野市、飯山市、佐久市、上越市、
 糸魚川市、黒部市、高岡市、金沢市、富山市



H24.11月
 北陸新幹線停車駅都市観光
 推進会議 作成
 新幹線観光PRポスター

(イ) JAPAN ALPS広域観光都市連携会議

構成都市(7市)
 松本市、高山市、塩尻市、大町市、飛騨市、安曇野市、富山市

(ウ) ぶり街道推進協議会

構成都市(4市)
 松本市、高山市、飛騨市、富山市



H25. 9月
 東海北陸自動車道奥川サービス
 エリア(下り)において
 ぶり街道推進協議会高速道路SA
 キャンペーン実施

(エ) 都市間観光交流推進事業

岐阜市、長野市、飯山市と富山市との間でそれぞれ締結している協定に基づき観光・物産振興にお
 いて連携することで、両市間の観光交流を実現するもの。



(2) 二次交通利用促進事業

市内における交通利便性を高め、滞在型観光を促進する。
 ①路面電車(ポートラム・セントラム) 共通半額利用券の配布
 ②アヴィレ1日バスの半額を助成



(3) 観光費用の負担軽減と利便性の向上

市内博物館入館料の負担軽減とお得感を提供するため、
 「市内博物館共通バスポート」を販売する。

市内博物館共通バスポート：お問合せ先 文化国際課
 郷土博物館(佐藤記念美術館を含む)、科学博物館(天文台を含む)、
 民俗民芸村(7館)、ファミリーパーク、森家、浮田家、八尾おわら資料館、
 八尾化石資料館、八尾曳山展示館、大山歴史民俗資料館、猪谷開所館
 (計11施設)

(4) 滞在型観光バスツアー補助事業

本市の観光イベントの観覧を目的とした県外からの滞在型観光バスツアー
 を主催する旅行業者に対し助成することにより、参加者の負担を軽減し、
 滞在型観光客の誘致を促進する。



(5) 山岳観光の推進

(ア) グリーンシーズンのイベント開催

- ・立山薬花のグレンテ大作戦
- ・立山薬言葉祭
- ・各種トレッキングイベント
- ・虹のかけはし(LEDライトアップ事業)



(イ) 施設の整備

- ・ジップライン・アドベンチャー立山の増設
- ・トレッキングコースの整備
- ・牛岳スキー場周辺遊歩道の整備

(ウ) スキー場の整備

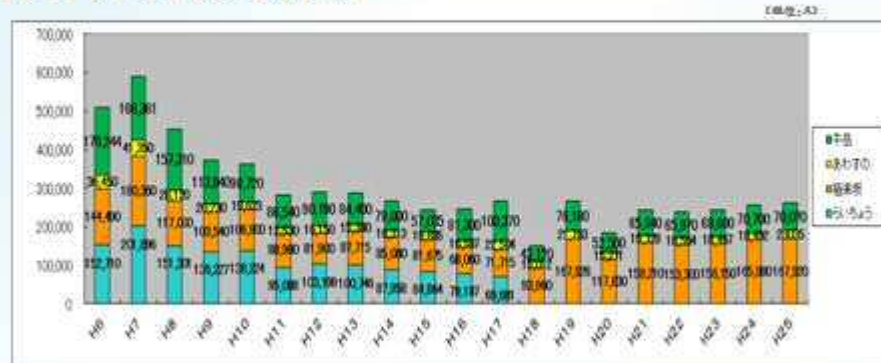
(エ) ウィンターシーズンのイベント開催

- ・越中八尾冬夜宴
- ・牛岳スノーフェスタ
- ・とやまスノービード 立山薬雪の祭典



各スキー場利用者数

◆スキーシーズンの利用者数の推移

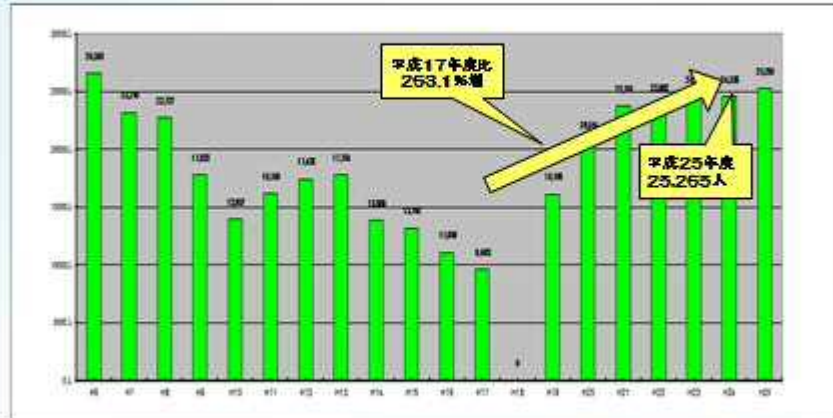


出典：観光庁観光統計



立山山麓スキー場施設利用者数

◆立山山麓 グリーンシーズンの Gondola リフトの利用者数の推移



(単位:人)

平成17年度比
263.1%増

平成25年度
25,265人



資料:立山山麓スキー場

⑤国際観光の推進

(1) 外国人観光客誘致宣伝事業

(ア) 韓国観光客誘致宣伝事業

- ・韓国国内でのエージェント訪問、観光説明会、同族会の開催
- ・韓国のマスコミ、エージェントの富山市への招徠

(イ) 韓国広告宣伝事業

(ウ) 台湾観光客誘致宣伝事業

(2) 二次交通利用促進事業

市内における交通利便性を高め、滞在型観光を促進するため、市内宿泊施設において、外国人市内宿泊観光客等を対象に路面電車(ポートルム・セントラム)共通無料利用券を配布する。

平成25年度 韓国観光プロモーション



立山ロッジホテルでの観光説明会



立山広域市役所表取訪問



(4) 外国人観光客誘致推進事業

市内のスキー場を訪れる外国人スキー客が宿泊する施設で実施する割引事業に対し、助成を行う。

《補助金額》
 大人 1人1泊 1,000円
 子供 1人1泊 600円

(5) 外国語表示観光案内板の整備

外国人観光客の利便性を高めるため、観光スポット等に、日・英・韓・中（簡・繁）・露の6ヶ国語による外国語表示案内板を計画的に設置する。

(6) 外国語表示案内板設置補助事業

市内宿泊施設、ゴルフ場、特産品店、その他観光施設が、外国人観光客の受入体制を整備することを目的として、外国語案内表示板、施設案内表示などを設置する場合助成を行う。

《補助金額》
 設置費用の1/2
 補助金上限 1件当たり50万円

(7) 宿泊施設外国人向け設備導入奨励事業

外国人観光客の受入態勢を充実するため、宿泊施設に対し、外国語放送を受信するためのチューナー等の設備や、Wi-Fi等に係る無線LANの設備の導入経費について助成する。

《補助金額》
 導入経費の1/2
 補助金上限 1件当たり20万円



梅沢町に設置された6ヶ国語案内看板



⑥ コンベンション等の誘致

(1) 富山国際会議場の運営

- ・本市におけるコンベンション推進の核となる富山国際会議場の設置・運営を行う。
- ・北陸新幹線開業前に外壁やカーペット、音響設備などの大規模なリフレッシュ工事をを行い、イメージアップを図る。

(2) コンベンションの開催支援

(ア) コンベンション開催事業補助金

《平成26年度から拡充、申請書類の簡素化》

- ◎ 補助金上限 500万円
- ◎ 算定基礎 延べ宿泊者数→参加者数・会期
- ◎ 補助対象 学会、大会、会議等が対象

(イ) スポーツ大会等開催事業補助金

(ウ) 企業コンベンション開催事業補助金

(3) コンベンションタクシー助成事業

県外からのコンベンション参加者が気軽に市内観光ができるよう、観光タクシーの利用に対して一部助成を行う。



コンベンションの開催支援実績

◆年度別コンベンション開催事業補助金制度実績



- (4) 合宿等の誘致
 - (ア) 合宿誘致促進事業
 - (イ) 合宿リーフレット作成事業
 - (ウ) 合宿・修学旅行誘致強化事業
- (5) 合宿の受入態勢の整備

らいちょう/パレーエアグラウンド整備を行い、合宿誘致の推進、立山山麓の活性化を図る。



合宿の開催支援実績

◆年度別合宿誘致事業補助金制度実績



(6) アドベンチャー施設利用助成事業

修学旅行等で市内に宿泊する県外の学校に対し、1施設あたり1人700円の補助をする。

◎アドベンチャー施設・メニュー

牛岳温泉スキー場、立山山麓スキー場（権楽坂エリア+らいちょうバレーエリア）、栗巣野スキー場
ジップライン・アドベンチャー立山、ラフティング、パラグライダー



⑦フィルムコミッション事業

フィルムコミッション事業

映画やドラマ、コマーシャルなどのロケを誘致し、富山市の豊かな自然や伝統文化などの魅力的な資源をロケ地として取り上げてもらうことにより、本市の魅力を国内外に発信し、イメージアップや知名度の向上を図る。

◆富山フィルムコミッションの運営 《平成23年度～》

富山フィルムコミッションは、富山の知名度向上と交流人口の拡大等による地域経済の活性化を図るため、国内外の映画やテレビドラマ、コマーシャルなどのロケーションを誘致することを目的に活動する、営利を目的としない公的な団体。

《構成団体》

- ・富山市
- ・富山商工会議所
- ・富山青年会議所
- ・富山市ホテル旅館事業協同組合
- ・市内観光協会 等

平成23年6月2日「富山フィルムコミッション」の設立



ロケ撮影地
富山地の秋津 月岡駅



テレビ番組撮影
立山線とライトレール（吉野）



フィルムコミッション事業

◆取り組み内容

(1) JFC (ジャパンフィルムコミッション) への加盟

(2) ロケ候補地調査及び情報発信

- ①ロケ候補地調査 1, 035箇所 (H26年3月末)
- ②全国ロケーションデータベースへの登録 164箇所 (H26年3月末)
- ③公式ホームページの開設、情報発信

(3) エキストラの募集・登録・派遣

- ①募集・登録
 - ホームページおよびパンフレットで周知
- ②エキストラの派遣
 - 42件 1, 023名 (H22年7月～H26年3月末)

(4) ロケ支援

- ①ロケ支援実績
 - 115件 (H22年7月～H26年3月末)
 - 映画 15件
 - ドラマ 9件
 - TV番組 43件
 - TVCM等 48件



ロケ候補地



エキストラ募集パンフレット



TVCMの撮影現場 (富山県可成水公園)



<参考資料> ④開催風景

[主催者あいさつ]



[討議風景]



[発表風景]



[投票風景]



[会場風景]



【北日本新聞 2014年5月25日 掲載】

郷土料理と観光に提言

富山 市民24人が討議会

富山市と富山青年会議所は24日、「とやま まちづくり市民討議会2014」を同市のCiCビルのいきいきKAN多目的ホールで開き、市民24人が郷土料理や北陸新幹線開業に向けた観光の取り組みについて意見交換した。



郷土料理について意見交換する参加者
—富山市のいきいきKAN多目的ホール

年から毎年開催している。住民基本台帳から無作為に抽出した18歳以上の市民千人のうち、抽選で選ばれた希望者が参加した。

参加者は五つのグループに分かれ、「とやまの郷土料理」と「新幹線開業を見据えた観光の取り組み」について話し合い、提言をまとめて発表した。郷土料理については県

内外への積極的な情報発信を求める意見が多く、「学生食堂のメニューに加えてはどうか」「富山駅の近くでまとめて食べられる環境を整えるべき」といった提言があった。

市民討議会は25日もあり、この日と別の25人が参加する。討議会の内容は後日、市のホームページに掲載する。

【富山新聞 2014年5月25日 掲載】

新幹線開業前に まちづくり考える

富山で市民討議会

富山市と富山青年会議所（JC）の「とやま市民討議会」写真Ⅱは24日、富山市のCiCビルで始まった。北陸新幹線開業を前に、32～76歳の市民24人が富山の魅力を伝えるまちづくりについて意見を交わした。

参加者は5グループに分かれ、ますのすしやホテルイカなど富山の郷土料理のPR、観光客に富山の良さを伝える方法について議論。新幹線の車内で富山の



名所を紹介し、郷土料理を盛り込んだ弁当を作るなどの案が出された。討議会の意見は年内に富山市に提出する。討議会は25日まで。